

運輸総合研究所 ワシントン国際問題研究所 (JITTI USA)

アメリカの首都の中心から

JITTI USA (以下「JITTI」) のオフィス①②は、ワシントンD.C.のダウンタウンエリアにあります。最寄りのメトロ駅まで徒歩5分、ホワイトハウスまでも15分。周囲には主要なシンクタンク、日米関係機関、そして国際機関が立ち並び、便利な環境です。

2025年1月のトランプ大統領就任後、街の空気には緊張感と活気が同居しています。新政権が次々に政策を打ち出すなか、日系企業の出張者も増え、JITTIを訪れる方々との意見交換の機会が一段と増えました。また、一部ではD.C.に事務所を新たに設立する動きも出てきています。最近では、地下鉄や観光地で州兵を目にする機会も増え、街の様子も少しずつ変わりつつあります。

JITTIを支えるメンバー

こうした環境の中、JITTIでは、所長・

研究員8名・現地スタッフ3名・顧問1名の計13名で調査研究と情報発信を行っています。研究員の研究紹介はP.2～3をご参照いただき、ここではJITTIを支える現地スタッフと顧問をご紹介します。

まず、マミコさん③。広報・運営担当として、HPやLinkedInの管理からデザイン、動画制作、シンポジウム時の会場調整まで幅広く活躍しています。イベントではMCまでこなす、まさに「JITTIの顔」のような存在です。

次に、トモミさん④。オフィス管理を担い、来客対応から庶務まで幅広い業務を支えています。研究員が壁にぶつかったときには話し相手になってくれるなど、事務所の空気を和らげる大切な存在です。

そして、スザンナさん⑤。会計担当で、日々の経理業務を丁寧に処理してくれています。アイオワ州からリモート勤務ですが、シンポジウムの時にはワシントンD.C.に駆けつけ、AV周りの仕事もこな

します。オンライン会議の背景にはいつも書道作品が飾られています。

さらに、JITTIの活動を立ち上げ時から支えていただいているのが小川顧問です⑥。小川顧問は、長年ワシントンD.C.を拠点に、米国の主要なエアラインにおいて幹部としての職務に携わってこられました。あわせて、日米の相互理解や交流の促進に関わる活動にも長く取り組まれてきました。そうしたご経験を通じて、航空分野にとどまらず、日米の幅広い分野にわたる知見やネットワークを有しています。先日の国際交流シンポジウムにおいても、スピーカーのご紹介などを通じて、JITTIの活動に深みを与えていただきました。

4名とも、JITTIには欠かせないメンバーです。

研究調査に勤しむ日々

オフィスの執務室はアメリカらしく個室で、研究調査に集中しやすい環境です⑦。ただ、シンポジウムの準備が近づく



①JITTI玄関



②JITTI外観
【写真中央右寄り・茶色のビルの10階】
(米国笹川平和財団が管理するビル)



③マミコさんのMC



④トモミさんのデスク



⑤スザンナさんのリモート勤務

⑥クリスマス会での一幕
(前列右側が小川顧問)



事務所紹介

と、研究員の執務室や打ち合わせスペースに集まって議論したりと、事務所全体が活気づきます⑧。

物価の高いアメリカ生活では、昼食は持参したお弁当、最寄りの日本スーパーで購入したカップラーメンやカップ焼きそばが定番です。昼食では、打ち合わせスペースに集まり、週末のイベント情報、子どもの遊び場、スーパーのお得情報など、つい話がはずみます。こうした雑談から、互いの理解が深まり、チームとしての一体感も強まっていきます。

ハレの舞台に向けて

JITTIにとって、年に2回のシンポジウムは「お祭り」のような存在です。

企画（サブ）担当は、シンポジウムの企画の骨格づくりからスタートし、テーマ

設定、スピーカーの選定、モデレーターとの調整を行い、開催の数月前から準備を進めます。一方、運営（ロジ）担当は、会場手配、フォト・ビデオ、通訳、ウェブページ、フライヤー制作など、多岐にわたる業務を担当します。オンライン配信もあるため、技術面でも細かな連携が必要です。

シンポジウムのある週には、東京本部からも幹部やスタッフがD.C.に訪れます。本番を前に、現地チームと本部メンバーで最終調整を行いながら準備を仕上げていきます。そして、いよいよ本番直前には、スタッフ全員で円陣を組み⑨、最後の情報共有を行い、シンポジウムの成功に向けて気持ちを一つにします。緊張と高揚感が入り混じる、JITTIらしい瞬間です。

当日は、スタッフが共通のメッセージ

アプリを使い、「席を追加します」「暖房を調整します」「時間が押しているので調整します」などの連絡をリアルタイムで共有し、登壇者が最高の力を発揮できる環境づくりに努めます。

シンポジウム後のレセプションでは、参加者の皆様から温かい評価をいただくことも多く、その言葉が私たちにとって大きな励みになります。翌日以降には「良かった点」と「改善点」をJITTIスタッフでまとめ、次回に生かす取り組みも欠かしません。

このようにJITTIでは、皆がそれぞれの力を生かしながら、日々の調査研究から大型イベントまで、チーム一体となって業務に取り組んでいます。

ワシントンD.C.にお越しの際には、ぜひお気軽にJITTIにお立ち寄りください。



⑨シンポジウム前の円陣



⑧打ち合わせも行きやすい環境



ワシントン国際問題研究所

Japan International Transport and Tourism Institute, USA
1819 L Street NW, Suite 1000, Washington, D.C. 20036
TEL +1-(202)833-9763 FAX +1-(202)833-9769

URL : <https://www.jittiusa.org/>